

平成 19 年 7 月 13 日

南海電気鉄道株式会社

こうやさん さむえ 高野山駅に「作務衣」を着た駅係員が登場！

南海電鉄（社長 亘 信二）では、当社沿線の一大観光地である高野山に來訪されるお客さまに“靈場・高野山”の風情をお楽しみいただくため、高野山駅の駅長をはじめ同駅係員全員が、山内の僧侶などが労働（作務）をするときに着る「作務衣（さむえ）」を着用してお迎えし、ご案内させていただくこととしました。なお、作務衣の着用期間は、春および夏の行楽シーズンの土・休日とお盆期間を基本とします。詳細は下記のとおりです。

1. 「作務衣」の着用期間

- （1）平成 19 年 7 月 14 日（土）から同年 9 月 30 日（日）までの土・休日
- （2）お盆期間・・・同年 8 月 13 日（月）、14 日（火）、15 日（水）
平成 20 年春以降の着用期間については未定です。

2. 「作務衣」を着用する従業員

高野山駅長および同駅係員全員

3. 高野山駅の概要

【開業】

昭和 5 年（1930）6 月 29 日

【所在地】

和歌山県伊都郡高野町

大字高野山国有林第 9 林班ノは

【1 日平均乗降人員】

1,645 人（平成 18 年度）



作務衣を着た辻本典昭高野山駅長（右）
と女性駅係員

以上